

ほくぎんフィナンシャルグループ
I R 説明会

平成16年6月15日

株式会社ほくぎんフィナンシャルグループ
(8 3 7 7)

- 目次 -

- ほくぎんフィナンシャルグループの
現状について -

北陸銀行と地域との係わり(北陸3県)
北陸銀行と地域との係わり(北海道) 、
北陸地域の経済動向
地域別の預金・貸出金構成
グループ企業の概要
グループ経営戦略の概要

- 今後の経営戦略について -

北陸銀行が目指す資産ポートフォリオ
消費者ローン増強への施策 、
中小企業等向けリテール推進の施策
CS向上への取り組み
新たな収益機会への取り組み
効率的な営業インフラ体制 、
企業再生支援への取り組みと成果
他業態との積極的な連携強化

- 2004.3期 決算概要 -

2004.3期 決算ダイジェスト 、
コア業務純益の推移と今後の展望
コア業務粗利益の推移 、 、
消費者ローンの推進
利鞘の推移
経営効率の改善
与信ポートフォリオ
信用コスト
不良債権の状況
株式保有リスクの低減
自己資本比率の状況(連結ベース)

ほくぎんフィナンシャルグループの 現状について

北陸銀行と地域との係わり(北陸3県)
北陸銀行と地域との係わり(北海道) 、
北陸地域の経済動向
地域別の預金・貸出金構成
グループ企業の概要
グループ経営戦略の概要

北陸銀行と地域との係わり（北陸3県）

北陸銀行の歴史は、『合併と統合』の歴史

富山県

明治12年2月、富山の売薬商人らを中心に富山第百二十三国立銀行設立の後、明治17年に金沢第十二国立銀行と合併し、富山第十二国立銀行を設立、本店を富山に置く
地域のリーディングバンクとして県内の主要企業、中小企業、家計取引を網羅

石川県

明治10年8月、北陸銀行の発祥である金沢第十二国立銀行が設立＝「北陸銀行発祥の地」
繊維産業とともに当地の経済発展に密接に関わり、現在も主要企業との取引度合いは高い
03/3期には石川銀行の一部営業譲渡引き受けにより、地域金融安定化の一翼を担う

福井県

明治11年の武生第五十七国立銀行（現武生支店）創業を起点
地場産業との繋がりも深く、地元商工業者の利便性を優先した施策を展開

北陸銀行と地域との係わり（北海道）

一世紀以上もの歴史を誇る北海道と北陸銀行とのきずな

明治10年8月 北陸銀行創業(金沢第十二国立銀行として)

明治32年10月 北陸銀行小樽支店が開店 = 北海道での開業

明治33年4月 旧北海道拓殖銀行 開業

明治43年8月 北陸銀行 札幌支店 開店

大正6年8月 北洋銀行 創業

昭和25年11月 札幌銀行 創業

昭和26年3月 北海道銀行 創業

江戸中期に北陸と北海道の架け橋となった北前船によって、この両地域は古くから経済・文化両面で密接な関係にあり

北陸銀行も北前船の「不撓不屈」の精神で北海道へ進出した

北陸銀行と地域との係わり（北海道）

北海道と北陸をつなぐ架け橋として北陸銀行が果たす役割

北海道への移住者（明治25年～大正10年の30年間）

移住者約190万人のうち、北陸三県からは約56万人が移住している。
東北地方に次いで多く、全体の約3割を占めている

北海道におけるウエイト

	店舗数	うち北海道 (構成比率)	貸出金	うち北海道 (構成比率)
十二銀行 (昭和元年)	29	9 (31.0%)	3,790万円	1,570万円 (41.4%)
北陸銀行 (昭和18年)	188	22 (11.7%)	286百万円	59百万円 (20.6%)
北陸銀行 (平成16年)	134	17 (12.6%)	43,252億円	5,982億円 (13.8%)

北陸地域の経済動向

平成16年度の景況見通し

三位一体改革による財源不足から公共事業費削減の方針 公共投資は減少傾向。
 住宅投資については住宅ローン減税延長による掛け込み需要等が見込まれる。
輸出産業は、世界的な景気回復が続く電気機械、一般機械は引き続き好調。
**加えて中国・アジア地域での堅調な需要が期待できる素材産業やアジア・欧州向けの自動車
 関連事業などで堅調な推移が予測される。 総じて製造業には明るい兆しあり**

北陸の企業の売上高・経常利益動向(前年度比伸び率)

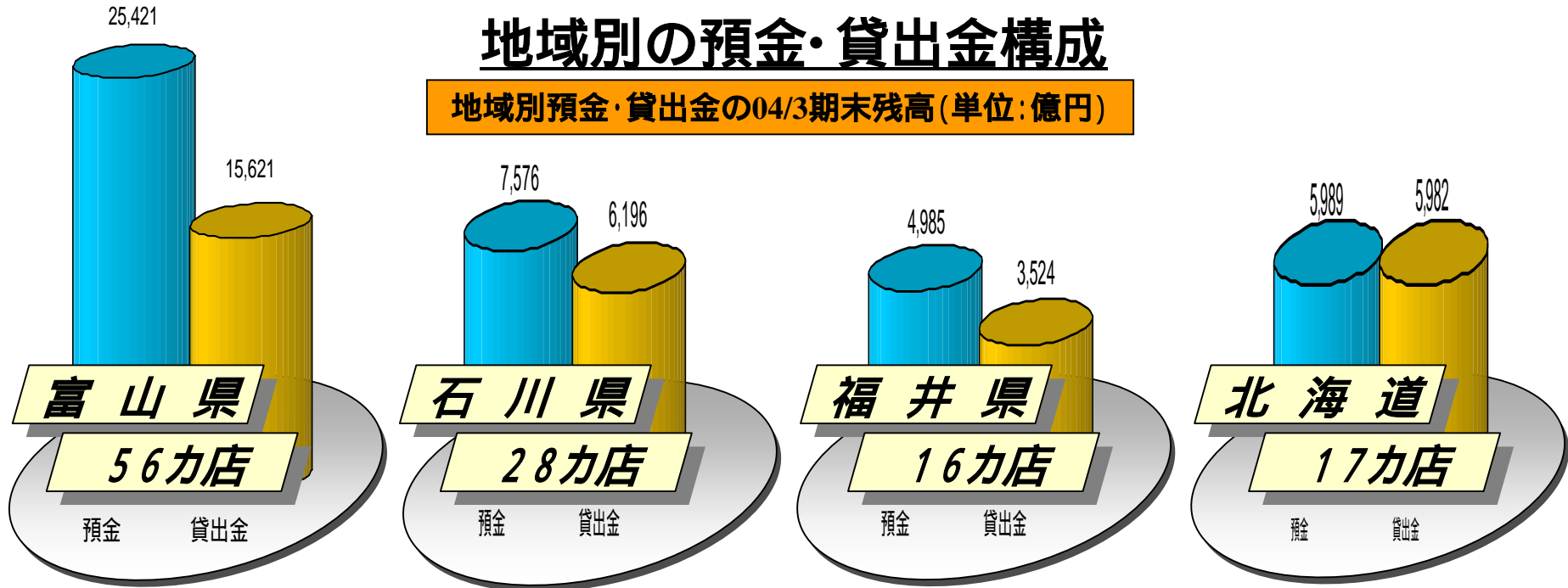
(%)

		02年度実績	03年度計画	上期	下期
売上高	全産業	0.6	0.8	1.2	0.4
	製造業	4.1	3.0	4.6	1.4
	非製造業	5.5	2.4	3.7	1.2
経常利益	全産業	76.5	21.2	31.8	12.8
	製造業	108.8	29.1	57.7	10.9
	非製造業	3.2	9.8	3.9	16.1

出典(日本銀行金沢支店、北陸3県企業短期経済観測、03/12実施、対象企業212社)

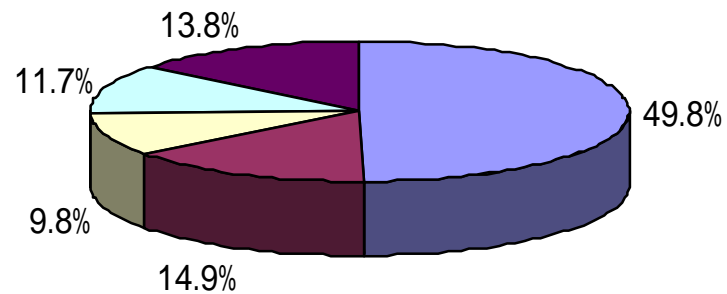
地域別の預金・貸出金構成

地域別預金・貸出金の04/3期末残高(単位:億円)

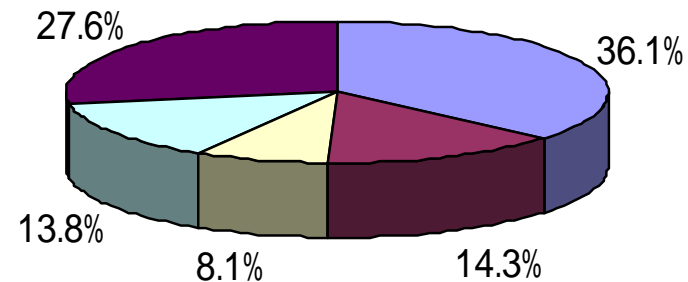


その他、三大都市地区に17カ店

地域別預金構成比(04/3期末残ベース)

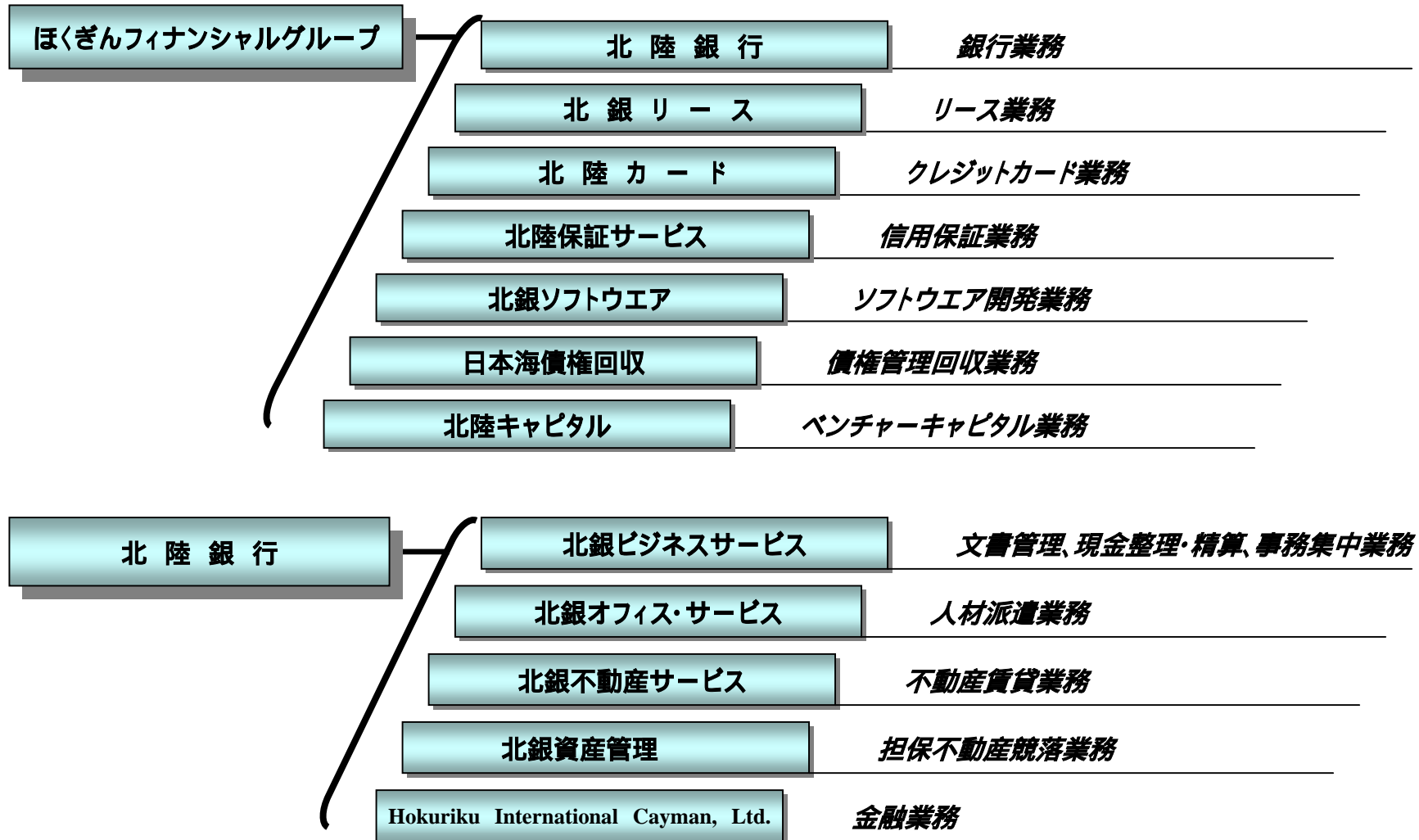


地域別貸出金構成比(04/3期末残ベース)



- 富山県
- 石川県
- 福井県
- 北海道
- その他

グループ企業の概要 - 総合金融サービスの提供



グループ経営戦略の概要 **- シナジー効果による企業価値の極大化**

グループ間の連携強化と戦略的業務提携による 総合金融サービス提供力の発揮

銀行窓口のみに頼らない営業体制の構築 = グループ各社が顧客接点を持つ窓口に
グループ各社が担当業務分野で外部提携等を行い、営業力を強化していく

ヘッドクォーター機能強化・管理部門効率化による コーポレートガバナンスの実践

グループ内の企画・立案部門の集約による一元的な経営管理の実現
人事・総務等の経営管理部門の集約による効率的な経営体制の構築
能力・実績評価重視の人事制度体系の浸透によるモラル向上

経営資源の効率的活用と傾斜配分による グループ戦略の遂行

持株会社によるグループ横断的な事業収益性・将来性の判断を実施
経営資源の重点分配に加え、人事交流等を活発にすることでグループ適材配置も実現

2004.3期 決算概要

2004.3期 決算ダイジェスト 、
コア業務純益の推移と今後の展望
コア業務粗利益の推移 、 、
消費者ローンの推進
利鞘の推移
経営効率の改善
与信ポートフォリオ
信用コスト
不良債権の状況
株式保有リスクの低減
自己資本比率の状況(連結ベース)

2004.3期 決算ダイジェスト (北陸銀行単体)

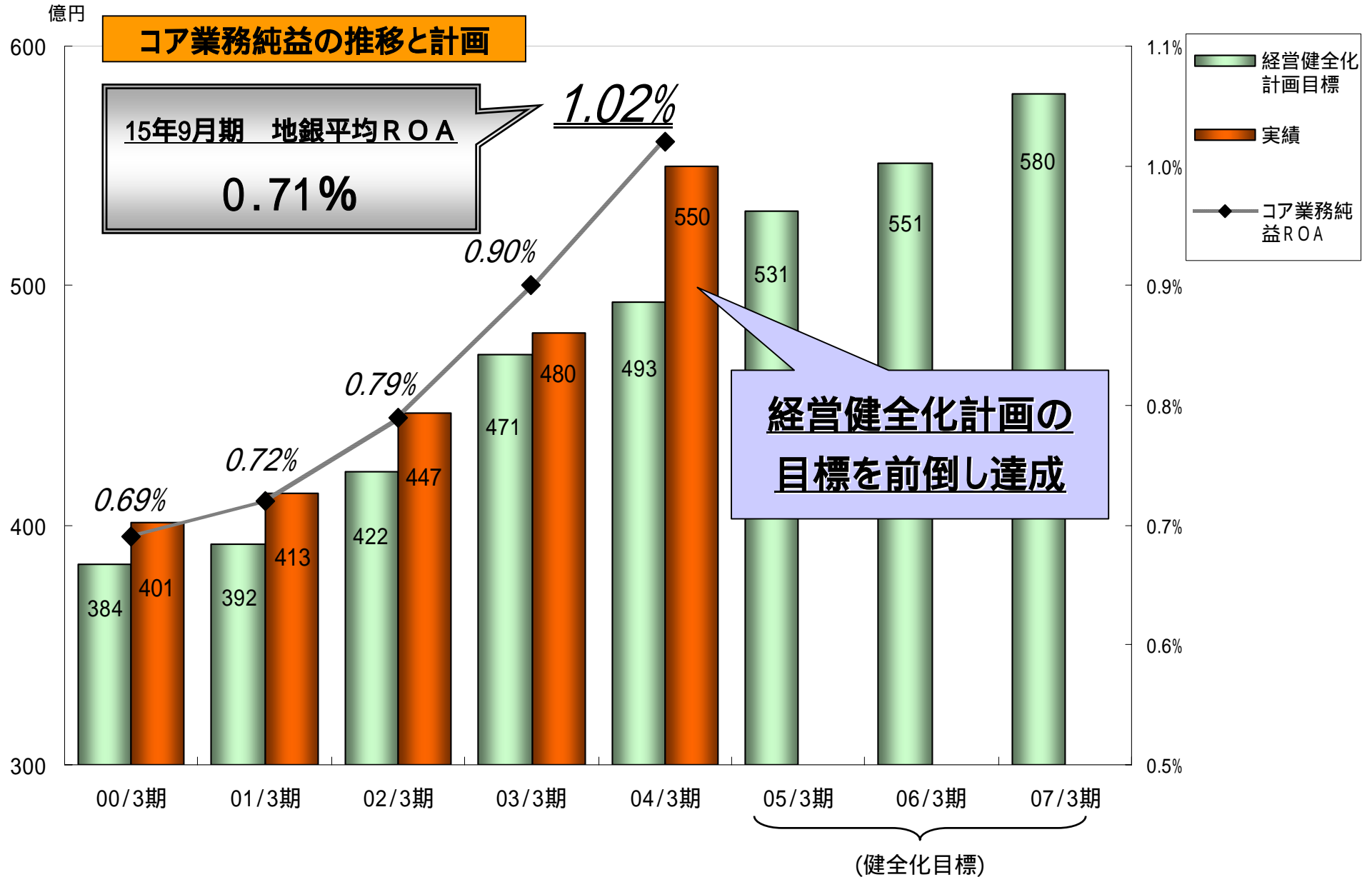
(億円)

	03/3期	04/3期	03/3期比
コア業務粗利益	1,013	1,070	57
資金利益	884	895	10
役務取引等利益	106	131	25
特定取引利益	10	23	13
外為売買益	12	20	8
経費()	532	520	12
人件費()	256	244	11
物件費、税金()	275	275	0
コア業務純益	480	550	69
貸出債権譲渡益	0	87	87
債券等損益	50	41	9
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	531	678	147
不良債権処理額()	304	675	370
株式等損益	156	55	211
経常利益	95	65	29
当期利益	27	49	21

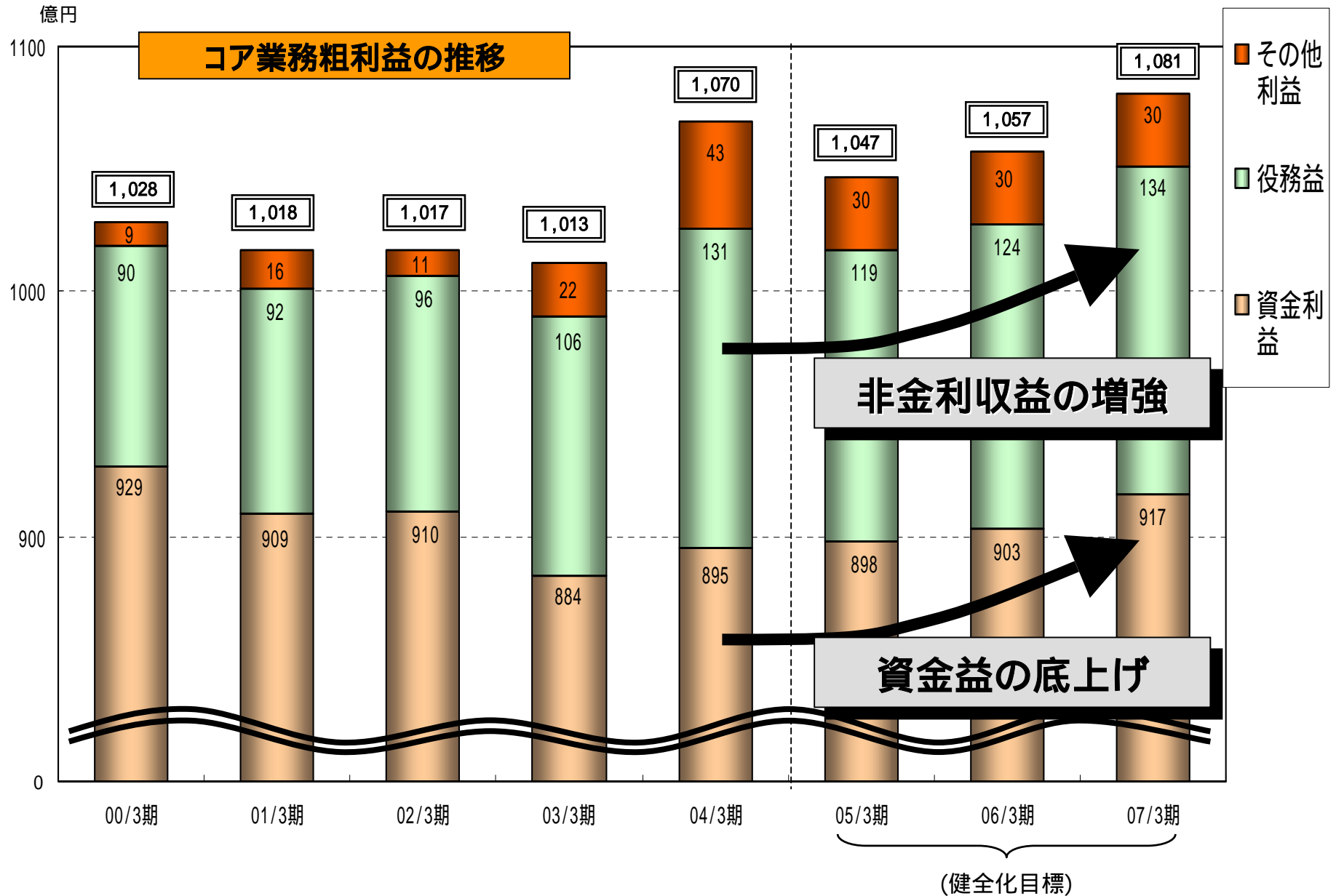
2004.3期 決算ダイジェスト (ポイント)

項目	要点等
コア業務純益	<p>過去最高水準の<u>550億円</u>を達成</p> <p>資金益底上げと役務益等非金利収益の増強</p> <p>経営効率の改善 <u>ROA 1.02%、OHR 48.6%</u> (コア業務純益ベース)</p>
信用コストの状況	<p>04/3期: <u>処理総額 675億円</u>、05/3期計画: 330億円へ</p> <p><u>破綻懸念先以下の新規発生 915億円</u>に対してオフバランス化の <u>実績は 1,081億円</u></p>
不良債権の状況	<p>04/3期: <u>再生法開示債権比率は 7.9%</u></p> <p>企業支援タスクフォース等による企業再生支援の強化</p>
株式保有リスクの低減	<p>04/3期: <u>上場株式簿価残高は 422億円</u> 圧縮し <u>941億円</u></p> <p>05/3期: <u>上場株式簿価残高 900億円以下</u>、Tier 比率 <u>50%以下</u></p>
自己資本の状況	<p><u>銀行単体、連結ベースともに 8%台</u>、Tier 比率も <u>5%台</u>を回復</p> <p>剰余金の積み上げとリスクアセット削減への取り組み</p>

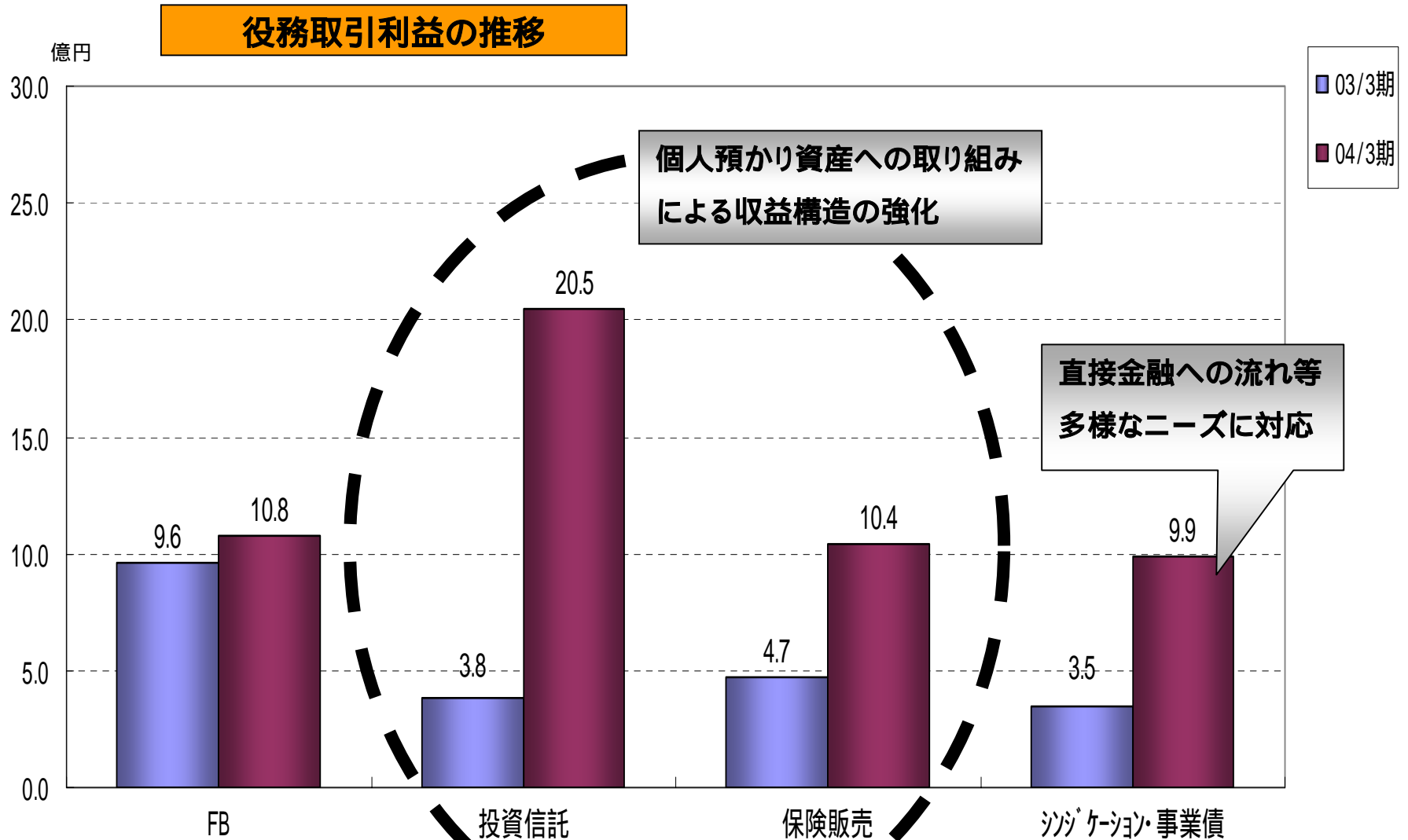
コア業務純益の推移と今後の展望



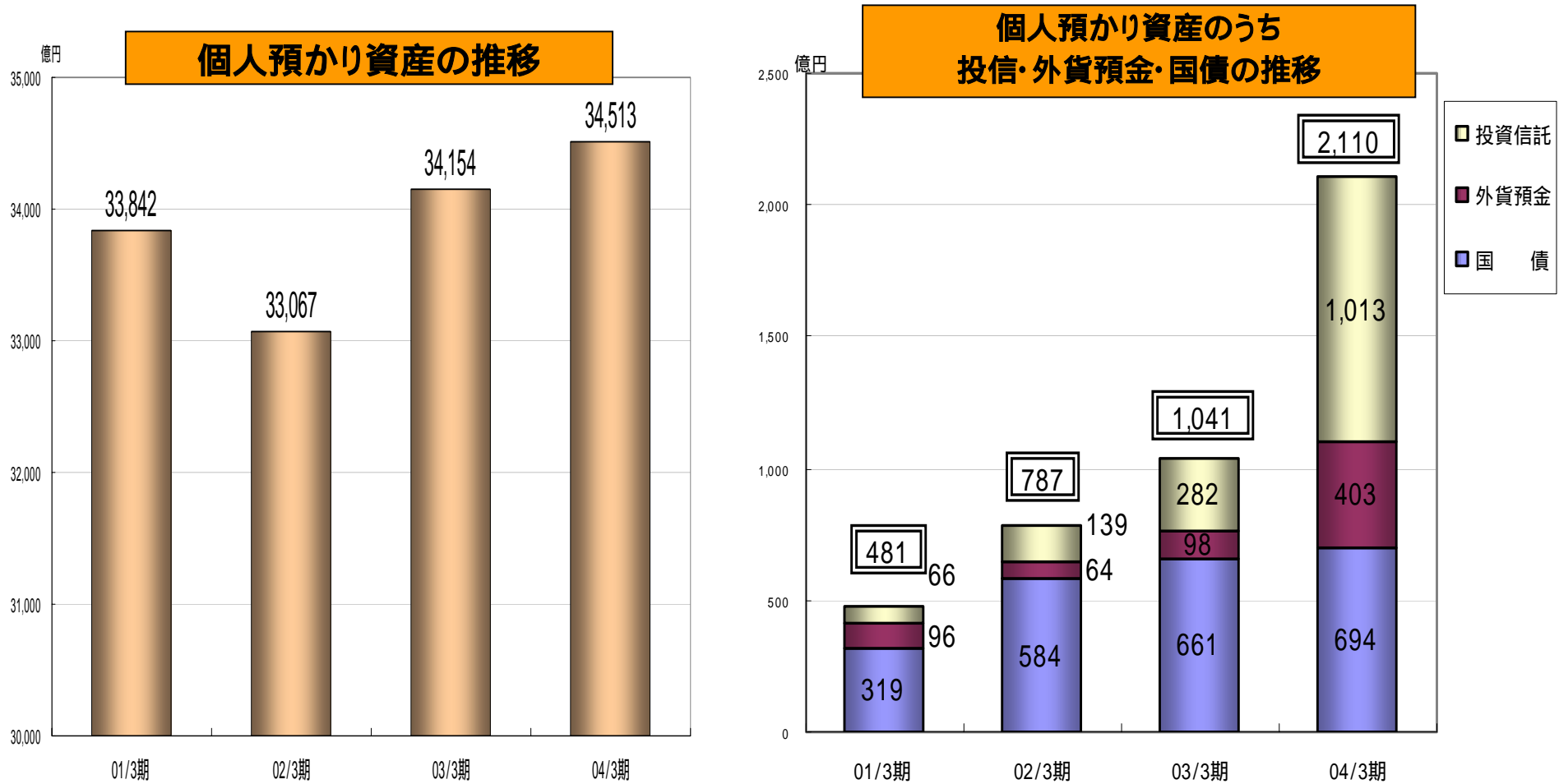
コア業務粗利益の推移 - 収益構造の強化



コア業務粗利益の推移 - フィービジネス強化

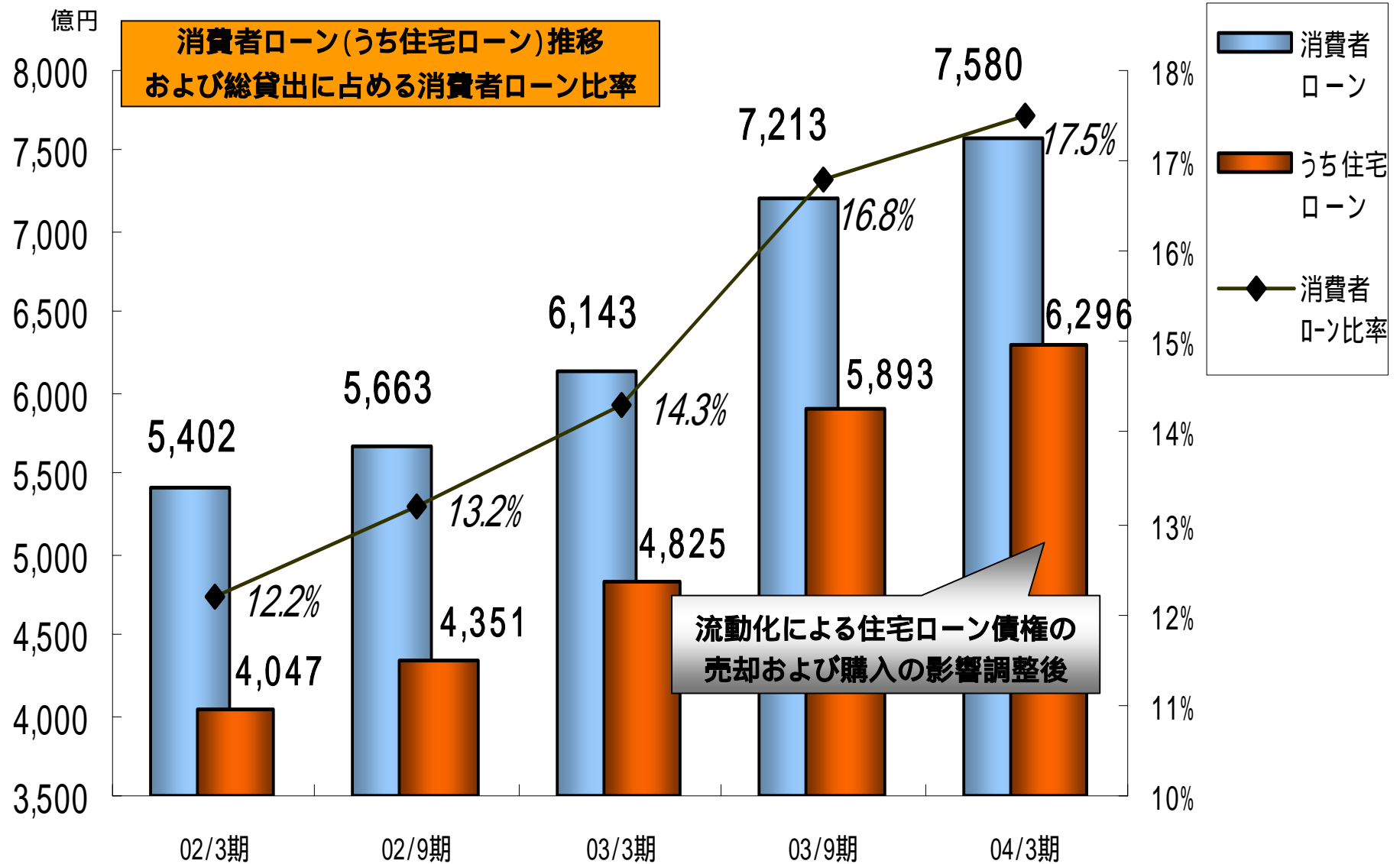


コア業務粗利益の推移 - 個人預かり資産増強



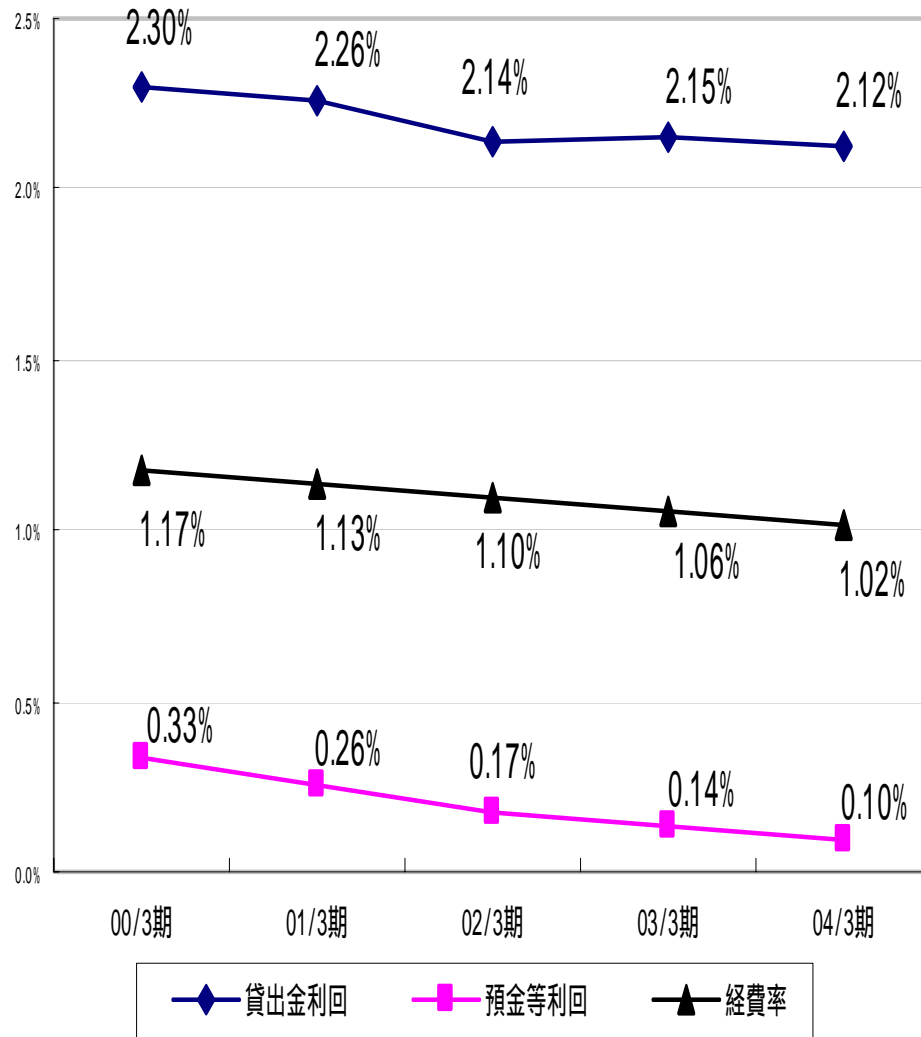
**個人預かり資産のうち、投資信託は前期末比3.6倍の伸び
外貨預金も前期末比4.1倍と個人預かり資産の堅調な伸びを支えている**

消費者ローンの推進

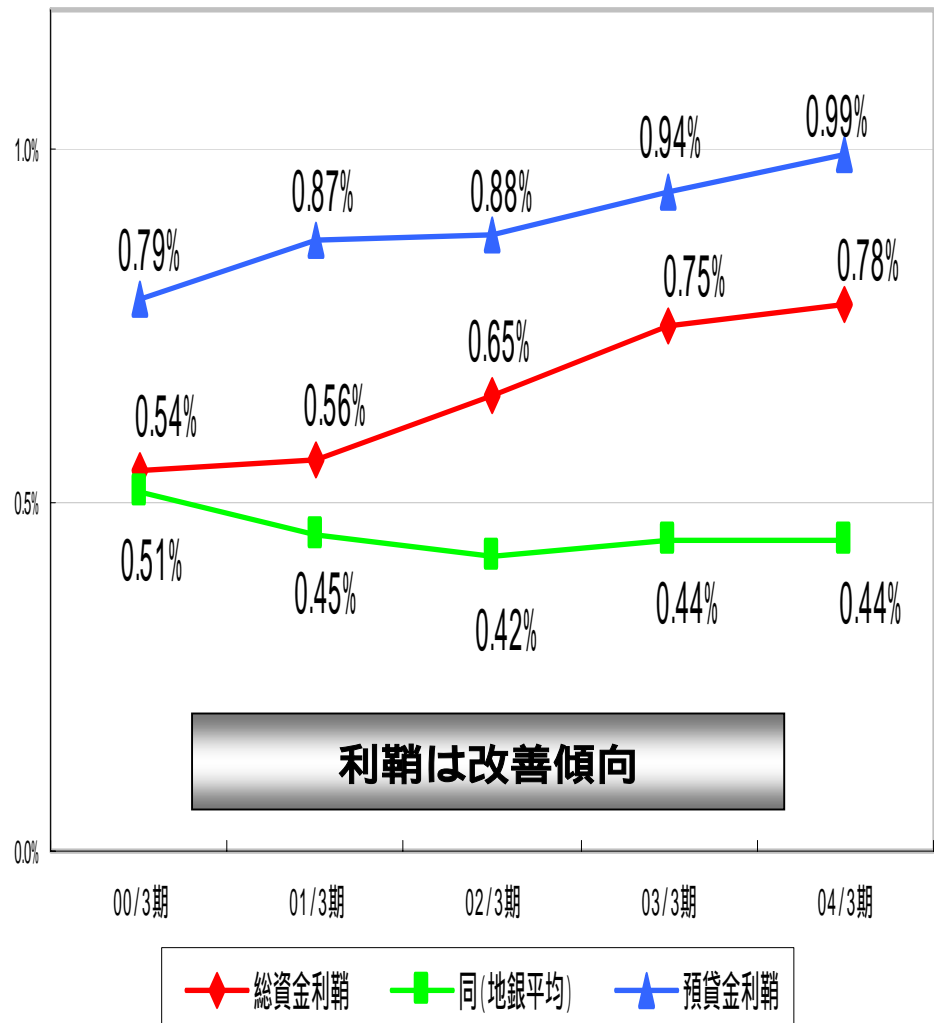


利鞘の推移(国内業務部門)

貸出金利回・預金等利回・経費率の推移



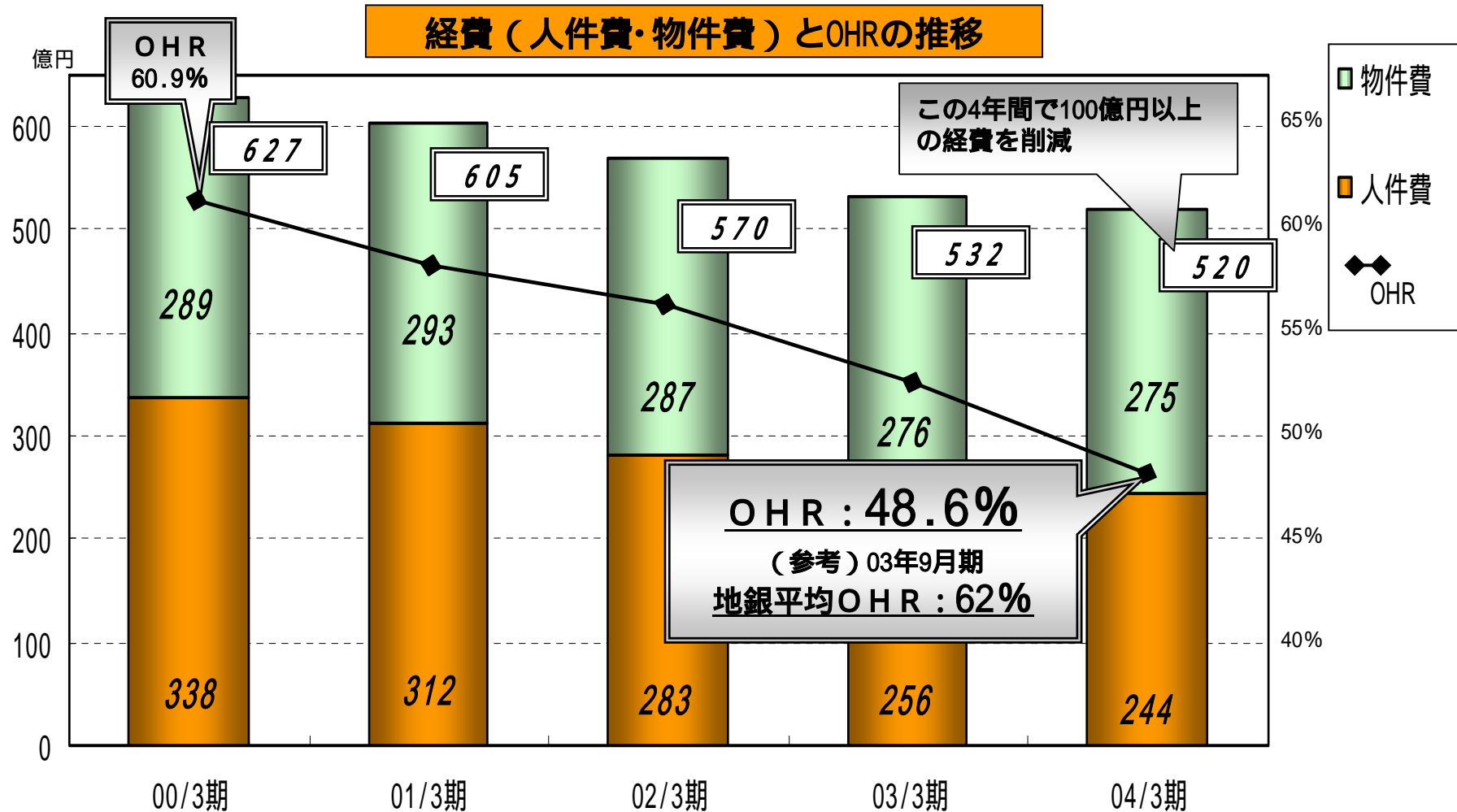
総資金利鞘・預貸金利鞘の推移



利鞘は改善傾向

地銀平均の直近期は03/9中間期の数値を使用

経営効率の改善

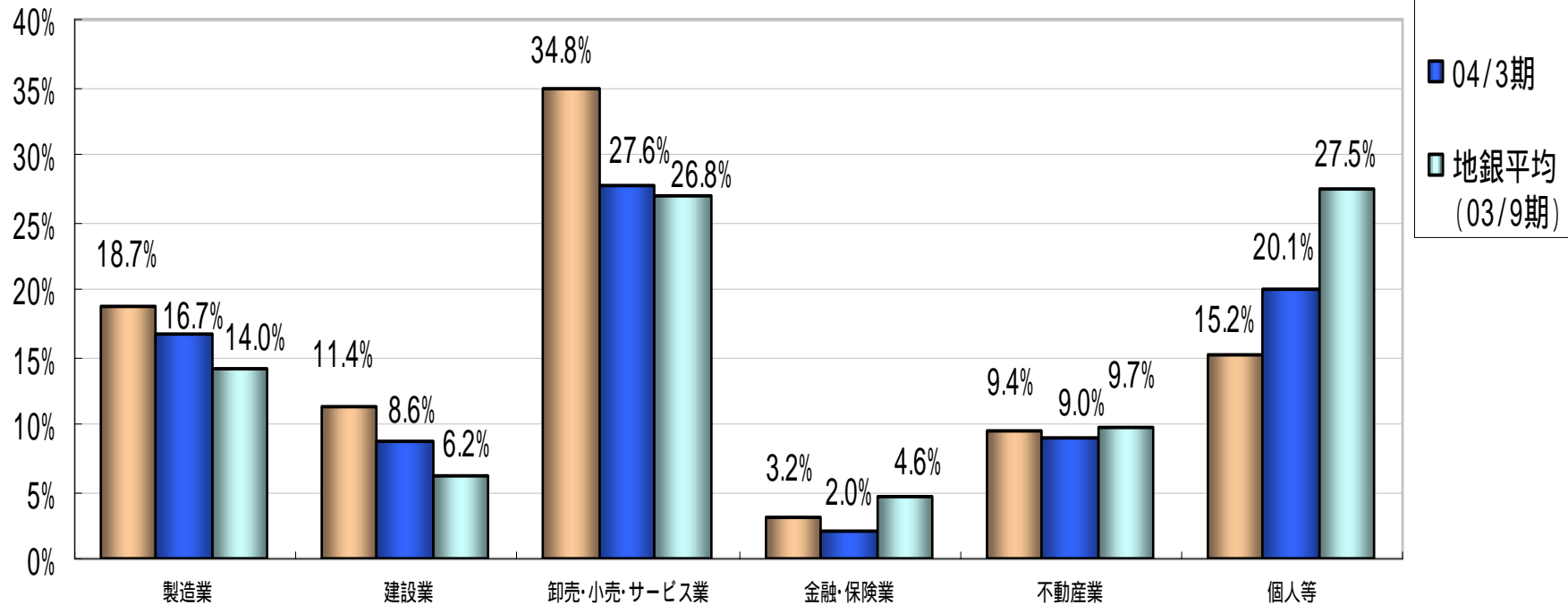


OHR = 経費(人件費 + 物件費) ÷ 業務粗利益(除く貸出債権・債券関係損益)

物件費は税金を含む金額

与信ポートフォリオ - 業種別貸出金の状況

主な業種別貸出金構成比率の推移（99/03期～04/3期）



03/9期の上場地方銀行の業種別貸出金残高比率のうち製造業 **14.0%**

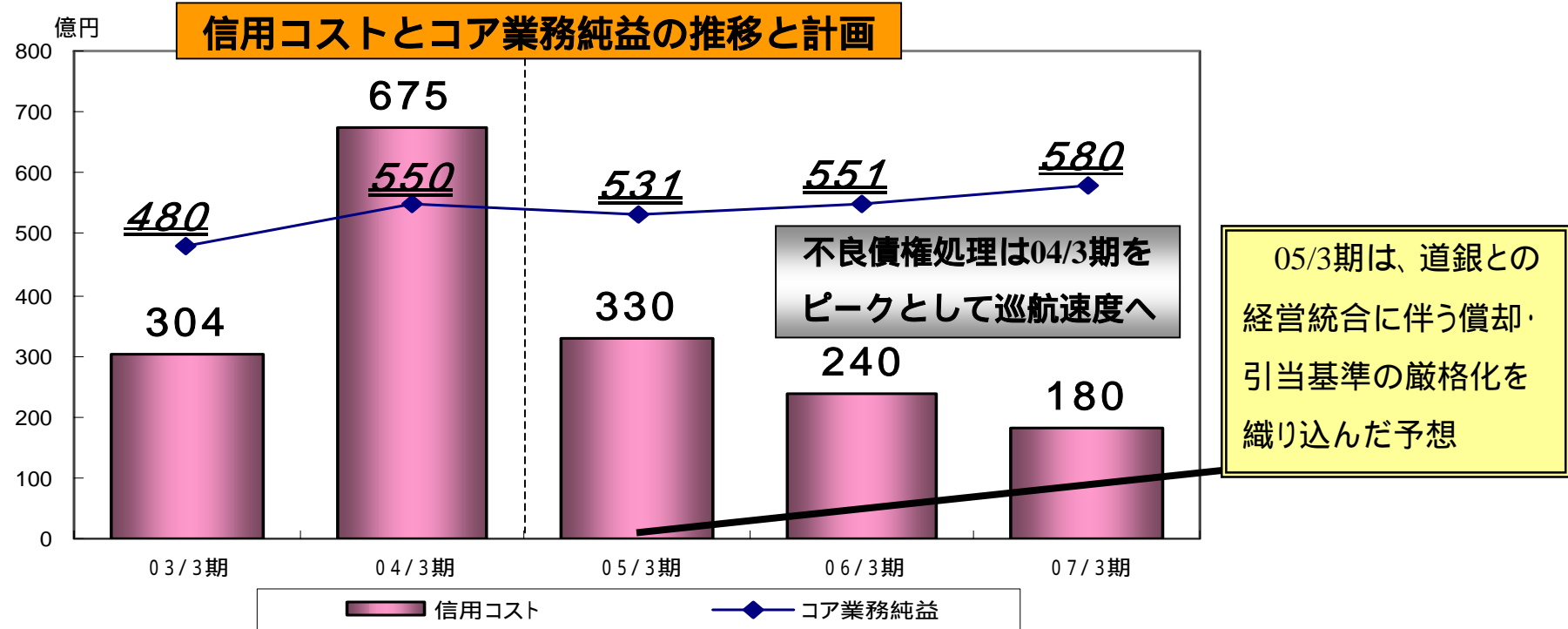
5年前との比較で、当行の構成比率も減少しているが、依然として地銀平均比高い

消費者ローンを中心に個人等の比率は大きく増加

今後もローン増強により比率は増加見込み

与信ポートフォリオの着実な改善

信用コスト - 巡航速度での処理に道筋



信用コストの内訳

(単位: 億円)

	新規発生 ランクダウン	担保下落等	ランクアップ・ 回収等	その他	一般貸倒引当金繰入	合計
04/3期	398	352	113	7	30	675
05/3計画	310	60	90	50	-	330
06/3計画	290	40	90	-	-	240
07/3計画	250	20	90	-	-	180

その他要注意先残高の推移

(単位: 億円)

	その他 要注意先残高	うち未保全額
02/3期	7,323	3,562
03/3期	6,287	3,041
04/3期	4,479	2,071

不良債権の状況 - 保全・引当等の状況

自己査定の場合 (04/3期末基準)

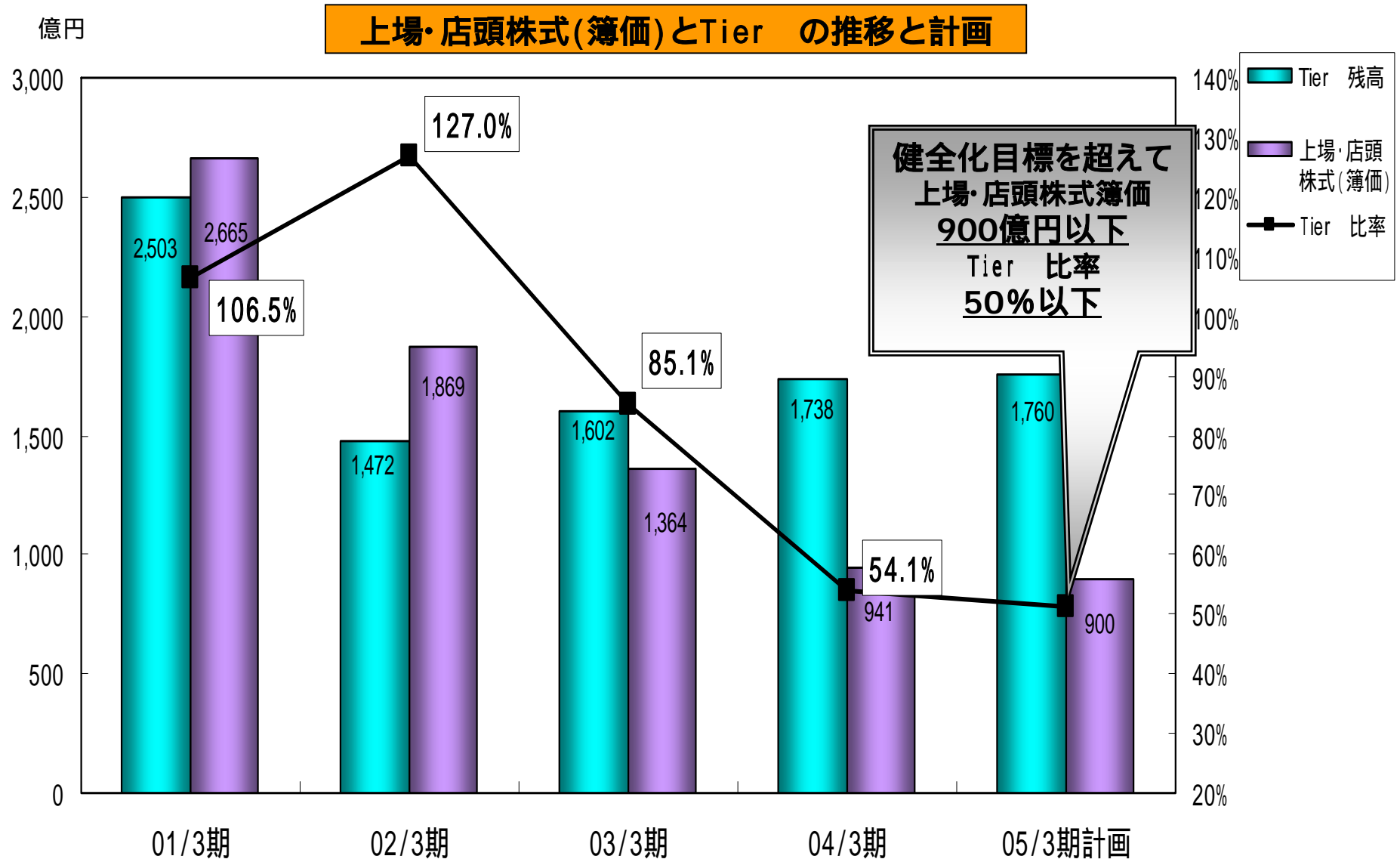
(単位:億円)

債務者区分	総与信		前期末比	担保・保証等	引当金	引当率	保全率	
		構成比						
破綻先	260	0.6%	365	180	79	100.0%	100.0%	
実質破綻先	349	0.8%	198	279	70	100.0%	100.0%	
破綻懸念先	1,935	4.3%	398	869	618	58.0%	76.8%	
要 注 意 先	(要管理債権)	(996)	(2.2%)	(72)	(137)	(208)	(24.0%)	(34.6%)
	要管理先	1,309	2.9%	134	380	222	24.0%	46.1%
	その他の要注意先	4,479	9.9%	1,808				
正常先	36,668	81.4%	2,235					
合計	45,002	100.0%	396					

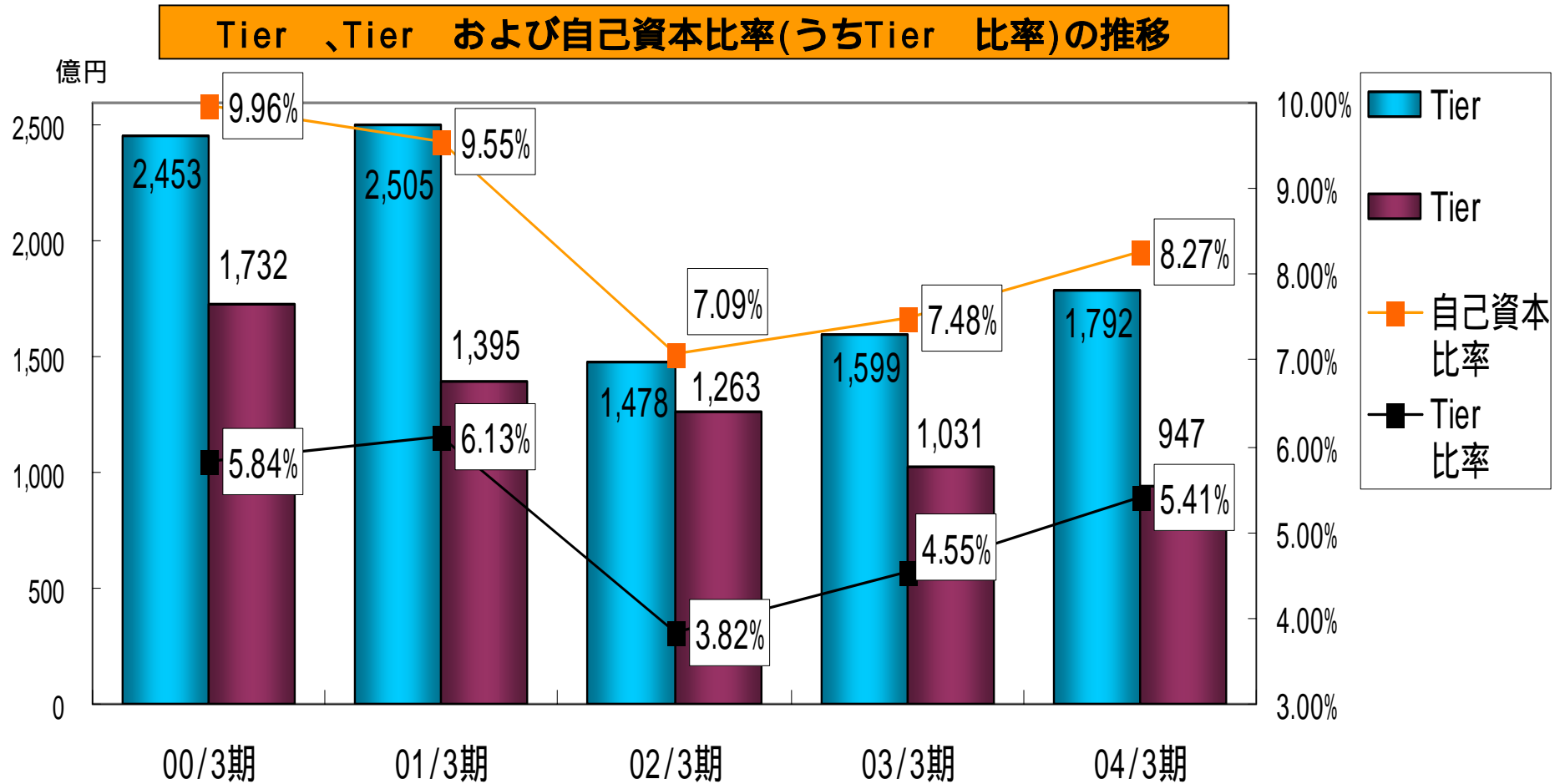
()内は部分直償前

再生法開示債権	3,542	7.9%	94	1,465	975	46.9%	68.9%
						(69.2%)	(78.2%)

株式保有リスクの低減



自己資本比率の状況(連結ベース)



剰余金積み上げとともに、不良債権処理促進・住宅ローン等へのアセット入れ替え等により自己資本比率の向上を図る

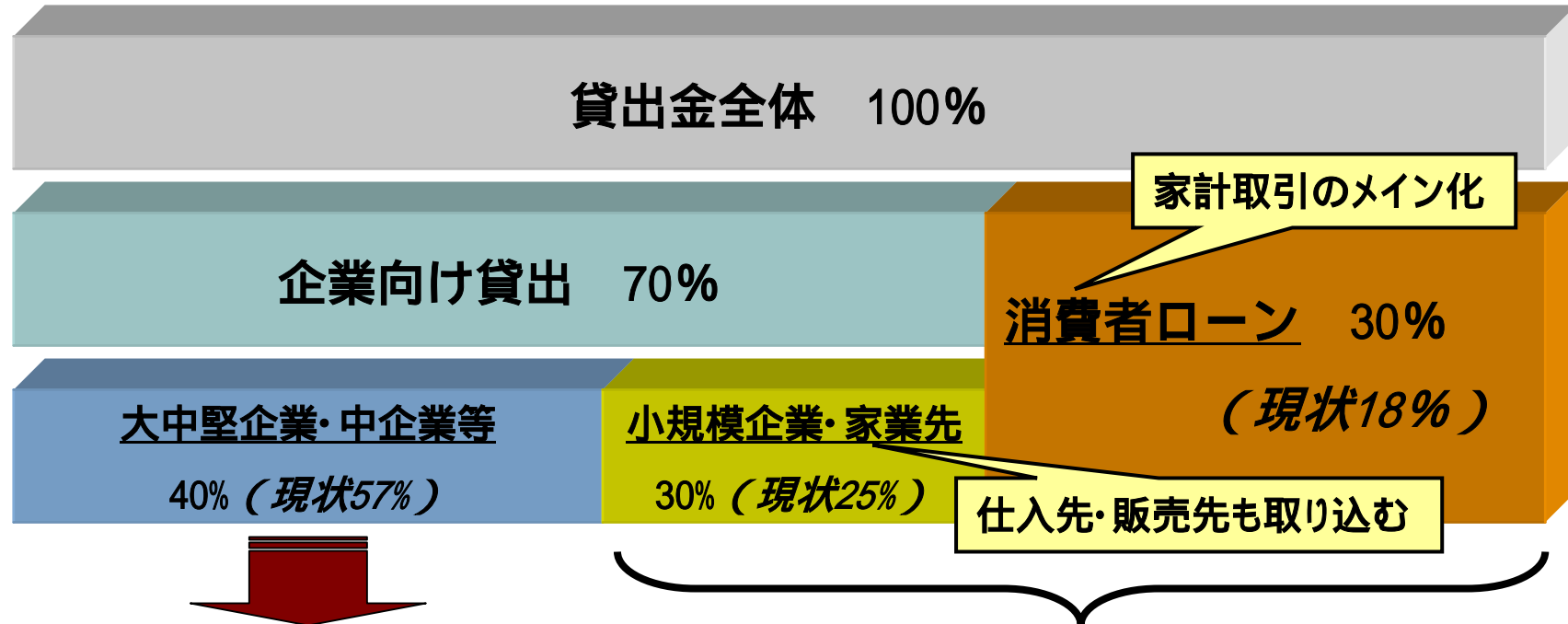
今後の経営戦略について

北陸銀行が目指す資産ポートフォリオ
消費者ローン増強への施策、
中小企業等向けリテール推進の施策
CS向上への取り組み
新たな収益機会への取り組み
効率的な営業インフラ体制、
企業再生支援への取り組みと成果
他業態との積極的な連携強化

北陸銀行が目指す資産ポートフォリオ

目指す資産構成のポリシー

企業取引から家計取引までを網羅～川上から川下まで～



大口与信圧縮(与信集中リスク回避)
シンジケートローン・債券引受の推進
信用コスト控除後利益(RAROA)向上

住宅ローン、保証協会貸出の効率的な推進
により、大口事業性貸出の減少をカバー
RAROA、リスクアセット収益率も向上

消費者ローン増強への施策

消費者ローン専門窓口・ほくぎんローンプラザの拡充

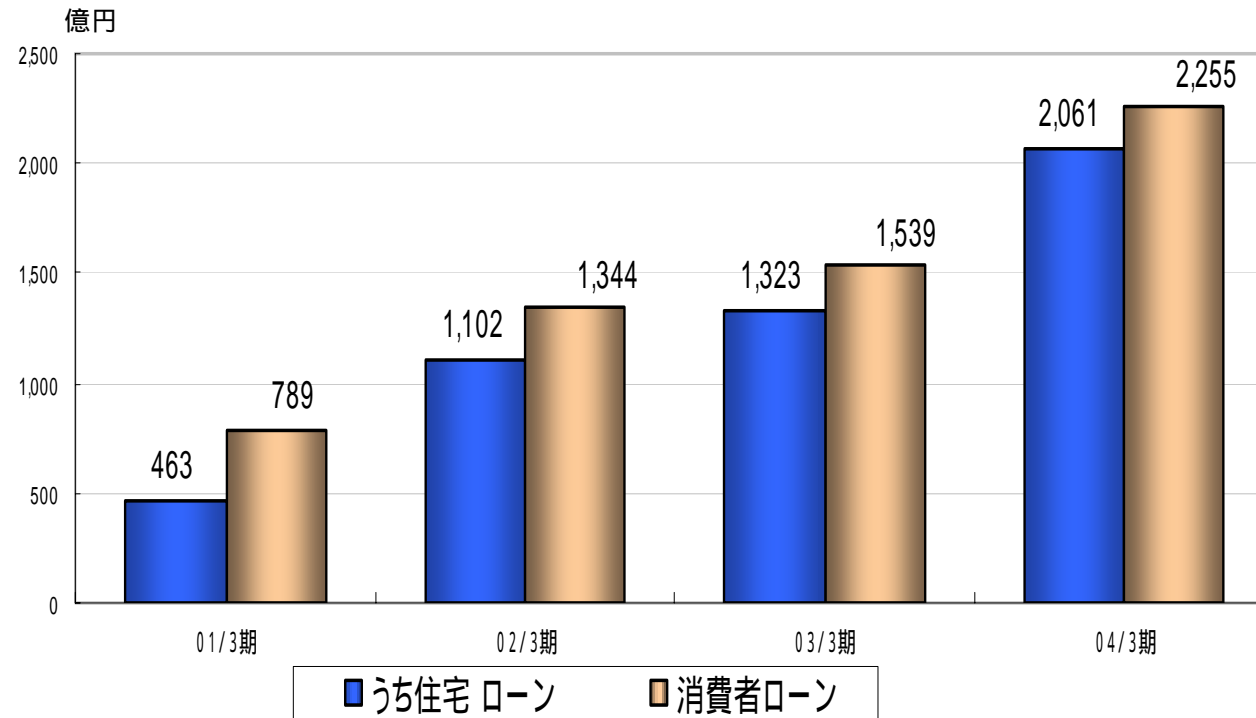
	03/3期末	04/3期末
ローンプラザ拠点数	11カ所	31カ所
うち休日営業店数	7カ所	23カ所

北陸三県、北海道、三大都市を
網羅

04/1～04/3中ローンプラザの案件
受付比率は **50%超**

05/3期中に **50カ所** 体制へ

消費者ローンおよび住宅ローン実行額の推移



消費者ローン増強への施策

消費者ローン推進への施策

施策項目	04/3期末時点での実績
03/7:住宅業者販売担当者を組織化した「ドリーム会」発足	会員数2,900名
03/8:保証人方式リフォームローン「お住まい名人」発売	33件/1億円
03/9:「ガン保証特約付」「失業保障保険付」住宅ローン発売	ガン267件/53億円・失業13件/2億円
03/10:アコム(株)との提携カードローン「クイックマン」発売	5,939件実行
03/11:住宅ローン「夢ホーム<リユース口>」発売	100件/17億円
04/2:住宅金融公庫提携 固定金利型住宅ローン発売	-
04/3:新型学資ローン「学びま専科」発売	-

カードローン推進の状況

	01/3期	02/3期	03/3期	04/3期
カードローン口数(千件)	268	316	363	480
カードローン残高(億円)	321	321	338	369

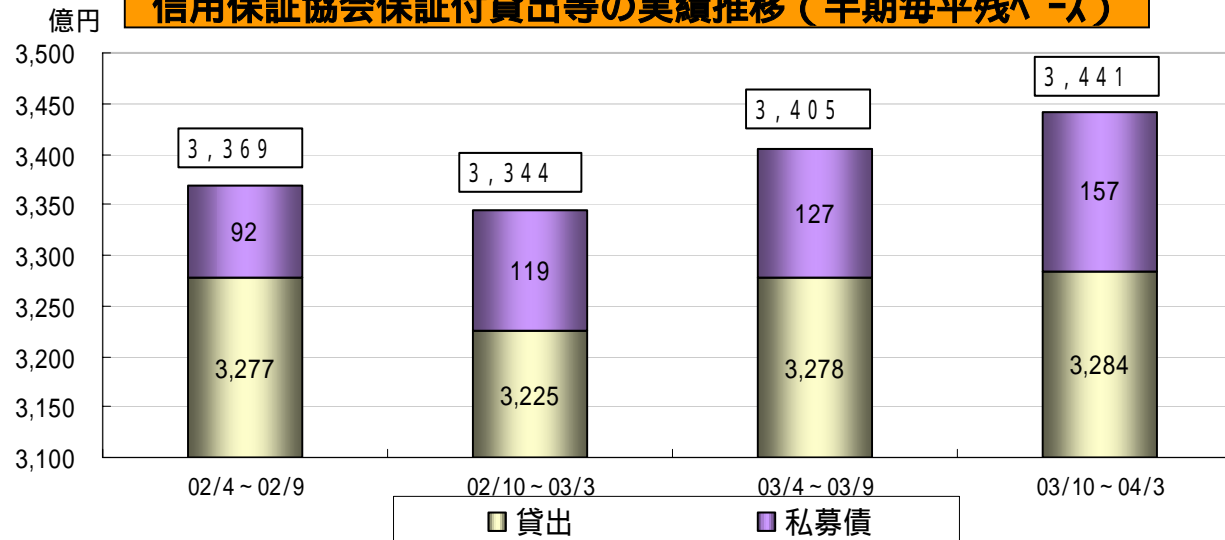
家計メイン化を進め05/3期末に
給振先 セット率60%以上
カードローン60万口座突破
 を目指す

中小企業等向けリテール推進の施策

中小企業貸出の増強に向けた施策

施策項目
従来の出張所を「ほくぎんプラザ」に呼称変更し、中小企業・個人家業先向けビジネスローン取り組みを強化 04/3期末でほくぎんプラザは北陸三県、北海道で39カ所体制
石川県信用保証協会連携「サポートファンド保証」、福井県信用保証協会連携「クイックエース」 [▽] 福井、TKC北陸会連携「ほくぎんTKC経営者ローン」などの新商品を積極的に投入
地元商工会議所や税理士会と連携した経営相談会を延べ81カ店で開催
03/11~03/12に事業性資金相談Weekと称して、集中的に北陸三県の取引先約9,000社を訪問 04/4にも約8,000社に対して訪問を実施、また04/6を「事業資金相談月間」とし、北陸三県全店で訪問相談を実施中

信用保証協会保証付貸出等の実績推移（半期毎平残ベース）



数々の施策により、リテール推進の核となる信用保証協会保証付貸出残高・私募債引受は増加傾向

CS向上への取り組み - ビジネスマッチング

徹底したビジネスマッチングへの取り組み(03/9期～04/3期の6ヶ月間)

ビジネスマッチング研修の実施

支店長120名、副支店長72名、渉外担当課長98名受講

北海道銀行主催「ビジネス交流会」

当行取引先8社とともに参加し、1件商談成立

取引先から収集・把握した情報件数 **25千件** マッチング件数 **8千件**

取引先へ提案・提言した情報件数 **21千件**

ほくりく長城会（取引先の中国ビジネス展開支援・情報提供を目的とした組織）

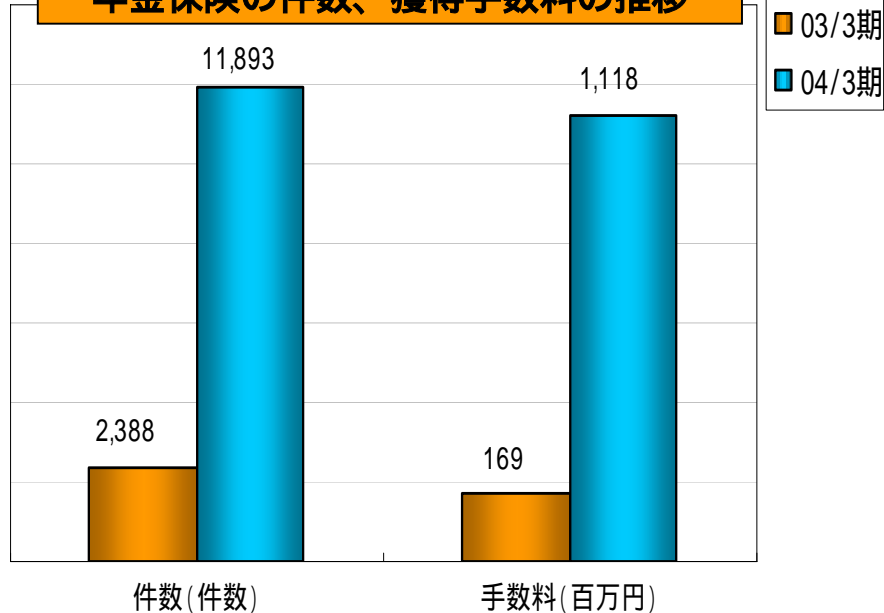
ほくりく長城会の組織拡大、機能拡充

会員数425先(04/3期末)へ拡大
会員向けHP開設、相談受付機能の拡充

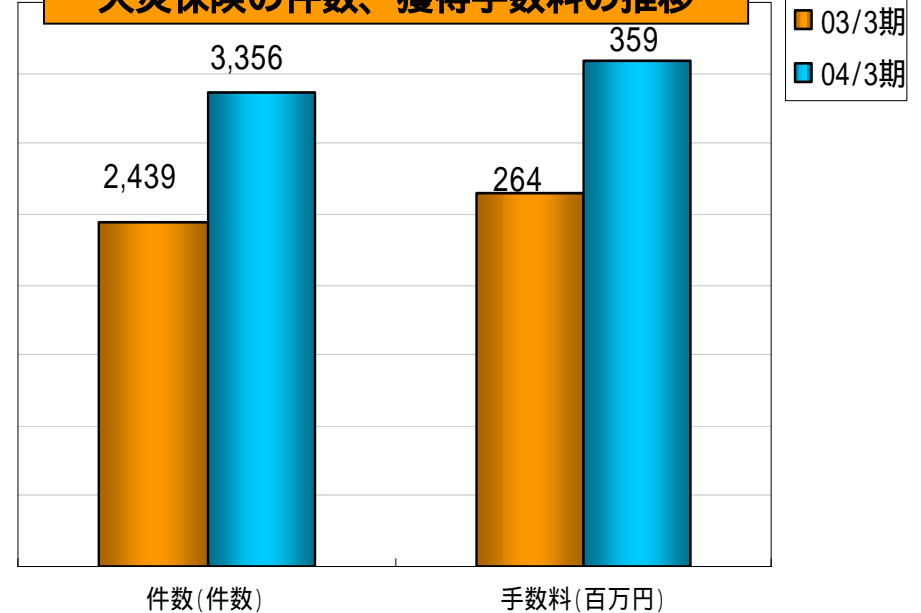
地域の潜在的ニーズの掘り起こし(自らが動いて創る) = 『地域創新』の精神

新たな収益機会への取り組み

年金保険の件数、獲得手数料の推移



火災保険の件数、獲得手数料の推移

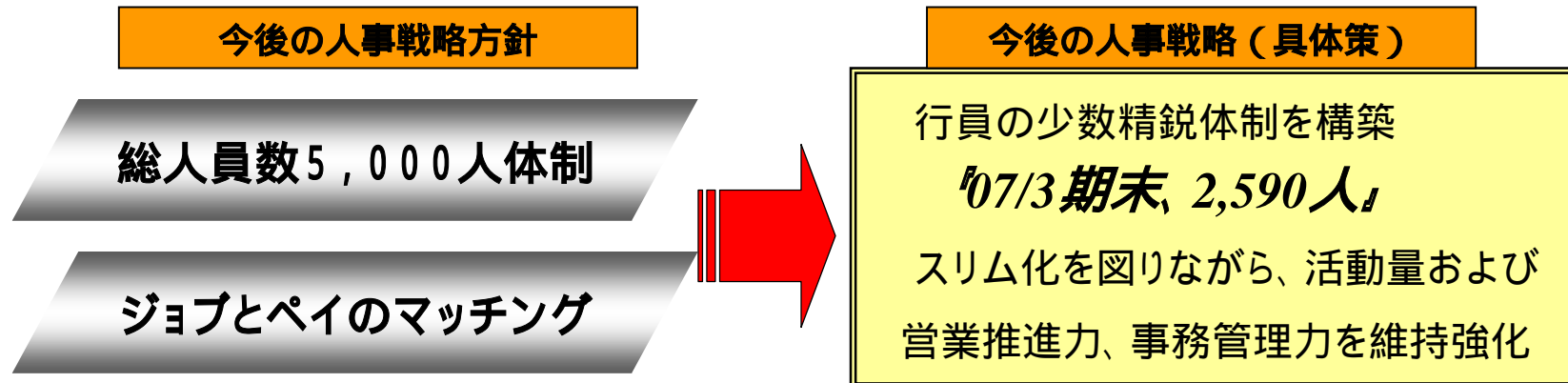
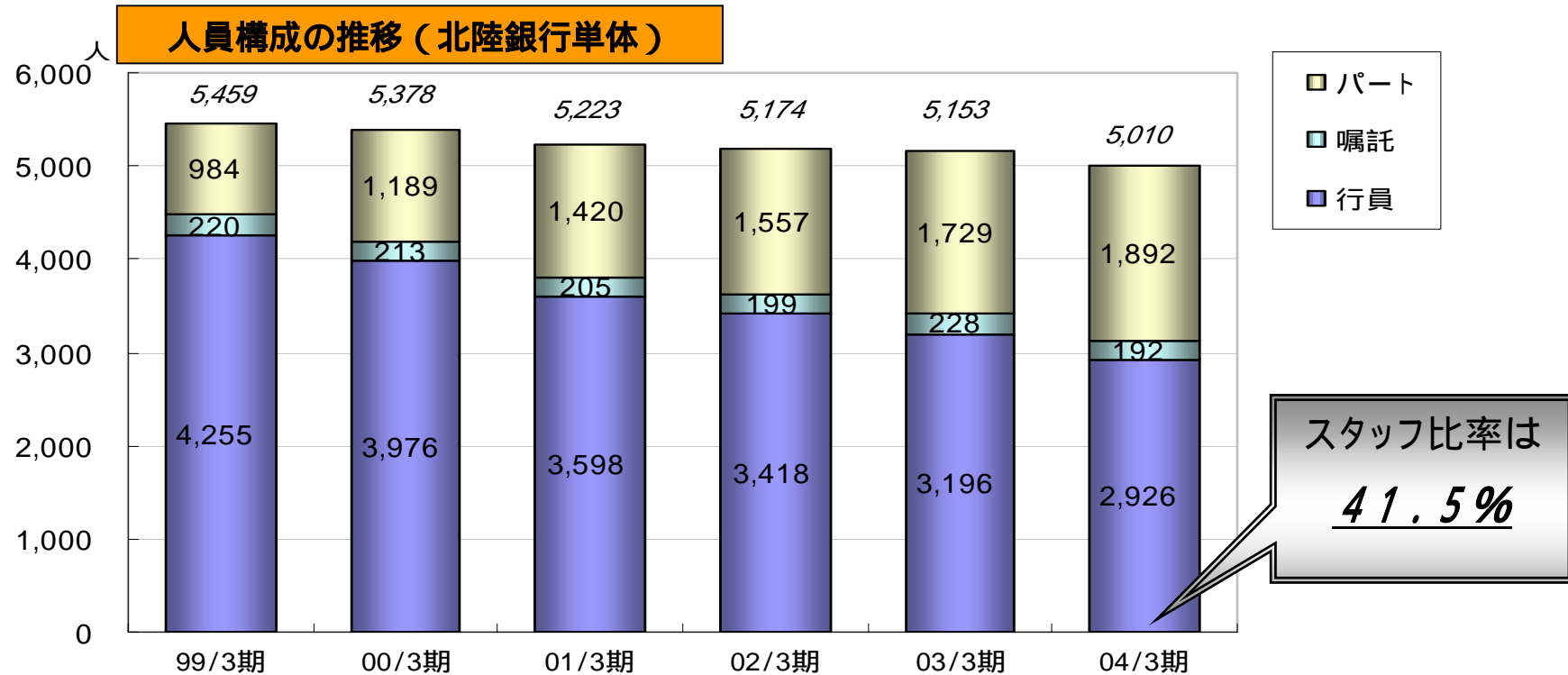


確定拠出年金への取り組み実績

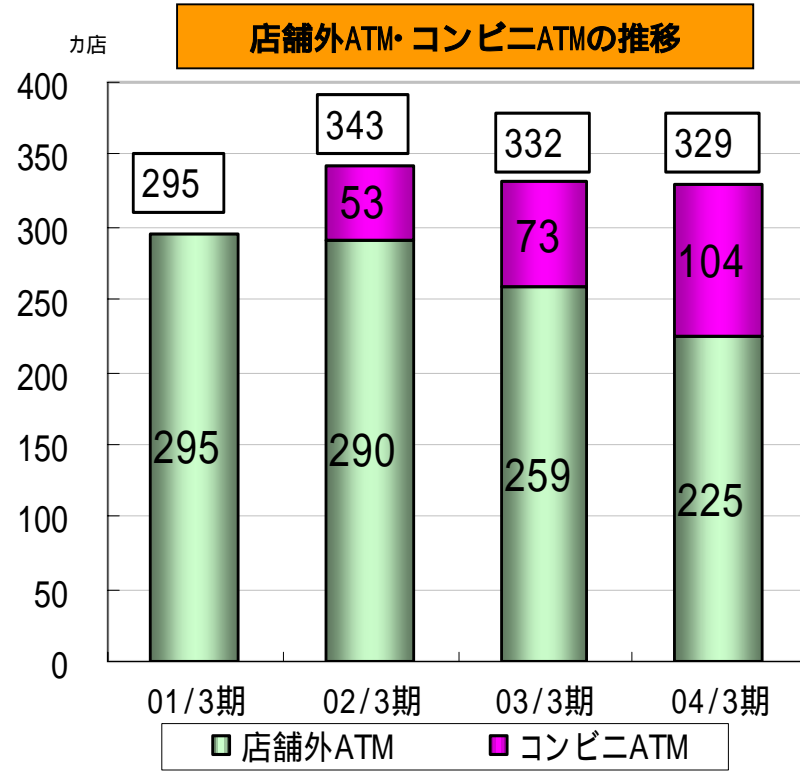
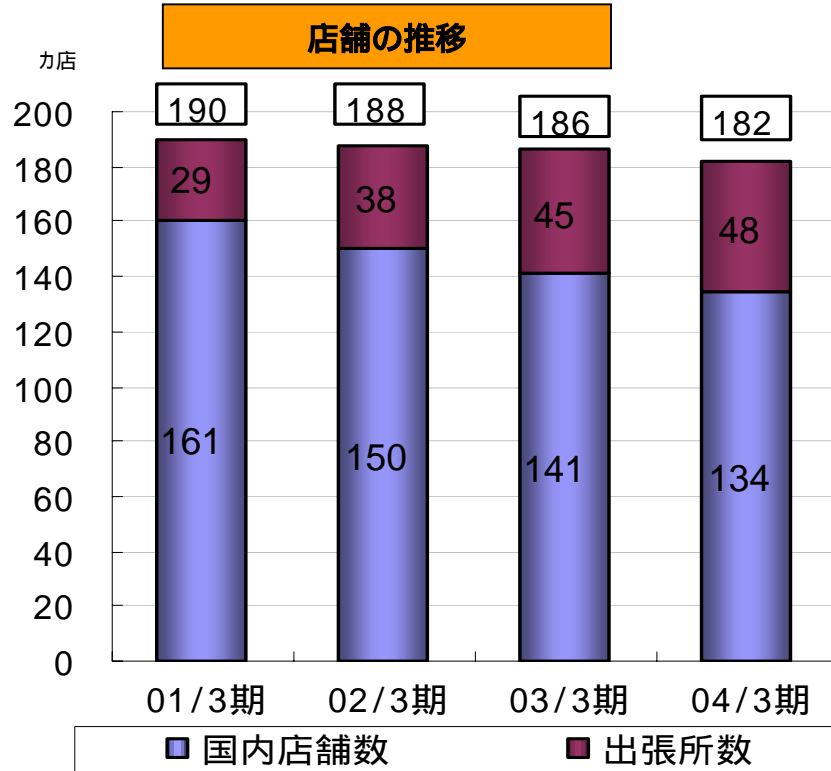
	04/3期実績	03/3期～04/3期累計
導入会社数	8社	21社
うち運営管理機関	7社	18社
うち商品提供機関	1社	3社
加入者数	約600名	約2,000名

04/5から、中小企業をターゲットとしたパッケージ化した総合型確定拠出年金「ほくぎんDCエース」の取り扱いを開始

効率的な営業インフラ体制 - 人員構成



効率的な営業インフラ体制 - 機能別役割分担の明確化



インターネットバンキング利用先の推移

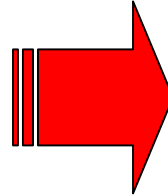
	01/3期	02/3期	03/3期	04/3期
(個人宛)ダイレクトA契約先数	10,717	17,804	42,426	48,800
(法人宛)B - ダイレクト契約先数	-	-	2,887	3,940
従来からのEB契約先数	17,647	18,317	20,886	21,476

企業再生支援への取り組みと成果

企業支援タスクフォース

平成15年4月に発足

総勢60名でスタート
直接企業の現場で活動
期間を区切り、目標を定め、達成度合い
をチェックし、最大限の効果を追求する



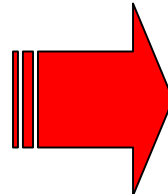
平成16年1月に機能を強化

支店の再生担当者等も任命し、134名体制へ
特定業種別(温泉関連等)に取引先をバック
アップする「企業支援機動チーム」をタスク
フォース内に新設、要員として9名を配置

企業再生支援取り組みの実績

04/3期の経営改善支援取組先

334先



04/3期の債務者区分ランクアップ先

56先

ランクアップした56先の内訳

破綻先からのランクアップ **2先**

破綻懸念先からのランクアップ **8先**

要注意先からのランクアップ **46先**

(うち要管理先からのランクアップ **9先**)

他業態との積極的な連携強化

日本政策投資銀行との連携

日本政策投資銀行のSPC(サンダーバード)による社債スキーム活用
全国第1号、第2号案件合計30億円の財務代理
北銀リースとの業務協力協定の締結 = リース案件を通じた地域への円滑な資金供給

コンビニエンスストアとの連携

(株)ローソンとの共同店舗2カ店(東京支店、富山南中央支店)に加え京都支店開設も準備
コンビニATMサービスによる利便性向上を図るべく、(株)イーネット(全国約5,000ヶ所)に加え
(株)ローソンでも本年7月より利用可能(全国約3,200ヶ所)

自治体・国立大学法人等との連携

地域の市町村合併等の動きにあわせ、税金、公共料金等のマルチペイメントサービスに対応したインターネットバンキング用税金等支払サービス「pay-easy(ペイジー)」を本年1月より開始
独立法人化した金沢大学、富山大学、富山医科薬科大学、高岡短期大学、小樽商科大学等
などの指定金融機関として資金収納、管理業務等を受託

本件に係る照会先

株式会社 ほくぎんフィナンシャルグループ

経営企画管理部 経営企画課

TEL: 0 7 6 - 4 2 3 - 7 3 3 1

FAX: 0 7 6 - 4 9 1 - 5 9 0 8

E-MAIL: souki1@hokugin.co.jp

本資料には、将来の業績に係る記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。